

## 第54回学習会（12月19日）の質問に関して再質問

2017年1月16日

これだけたくさんの方の質問に対して、時間が短かすぎたこともあり、住民が納得できる回答はわずかでした。以下に、質問と回答を列挙し、回答がなかったものについては、赤字で再質問いたします。

(1) 安全、(2) 環境、(3) 家屋調査、(5) その他については文書による回答を求めます。

(4) 交通問題については、⑦で要望しているように、早い時期に「交通問題」だけをテーマに学習会の開催を要望いたします。

### (1) 安全

Q、両方のトンネルで事故があったときは、どうするのか？テロなどの対策は？避難路を使って隣の道路に出た後どうやって地上に出るのか？避難坑の大きさを教えて欲しい、**車用は人も通れるのか**、床下に避難というのは考えないのか？避難坑がどこにあるのかパニックになっていたら見つけられないのではないのか。工事薬液注入範囲、凍結範囲を拡大することにした理由は？検討委員会の指摘ということだったが、判断材料として今までの資料に基づくのか、それとも新たな資料によるのか、委員会はいつ開催されたのか？使う薬剤はどのような種類、材料か？

A、まだ説明できないものもあるが、できる範囲で。

横連絡坑は本線トンネルの間に造る。基本的にトンネルのサイドのスペースを使って連絡坑にたどり着き、連絡坑を通して隣のトンネルに渡り、そのトンネルのスペースへ出る。

**トンネル脇の徒歩のためのスペースはどのくらいの幅なのか？**

地上までは長いところでは3キロあるが、自助共助で避難する。**避難坑の表示は検討する。**同時発災、テロについては、トンネルを通れる車両のルールを作るので、一概に危険な車ばかりではない。同時発災時は横連絡坑内に一時的にとどまる。床板下方式を取らないのは避難効率から、選択。連絡坑はシールド、ナトムという工法ではない。パイプルーフで凍結させて、掘る。近年の事故事例、

品川開削工事でシールドトンネルとの接点で水が出た。これを参考にして地盤の強度を強めなければならないということで、範囲を広げた。薬液は物質としては水ガラス・二酸化ケイ素、ジェル状のもの。

Q、薬液はどのようなタイプか？業者の選択に任せるといいますが、どのような種類から選ばれるかを知りたい。水ガラス（ケイ酸ナトリウム）は水に溶ける。アルカリ性。分かっている事実を、情報公開してほしい。

Q、工事の詳細、手法についてオープンにする責任はあると考えているのか。住民としては具体的に公表してほしい。書面で事実関係はどこまで明らかにしてくれるのか。家屋調査だと、どのような内容の調査をするのか。業者との契約書を公表するのか？

A、丁寧に説明していかななくてはと思っているが、知りたいという内容をこういう場で教えてもらい、工事説明会の場で答える。

Q、説明はどこまでするのか。質問されたことだけ答えるのか

A、工事前には説明会開催。3地区、地表改変するようなどころではしているが、こちらで

はしていない。通過するときには説明会を開くことを考えているがまだ決まっていない。

司会 この辺は大深度なので遅くなってしまっているが、説明会をいつ開くのか早く決めて欲しい。直近では困る。これまでの説明会やオープンハウスのような通り一遍のことだけではなく、しっかりと情報開示をしてほしいというのが住民の声だと思う。

Q、非常事態に対してBCP(事業継続計画)はどうなっているのか？こういったことを情報開示し、なぜこの工法を使うことになったのか示すことによって住民の安心と理解につながるのではないか。

A、国、道路会社はどうしていくか勉強していく。直下地震が起きたときなどに道路発災時は八の字方向に警戒していくという全体の計画としてはあるが。(説明不測で分からない。)

司会 書面で答えられるものは書面でお願いします。

①横連絡坑についての最終的な説明をお願いしたい。

人用、車用、それぞれの大きさ(直径)、間隔。

横連絡坑の位置を地図上に図示してほしい。

②横連絡坑を使って、隣のトンネルに逃げた後、どのようにして地上まで行きつけるか知りたい。

③上り線、下り線の両方で発災した場合の対策を知りたい。(横連絡坑内にとどまれる時間は?)

④本線トンネルに360mおきに横連絡坑を造った場合、本線トンネルの強度は何割くらい弱くなるのかを知りたい。

⑤横連絡坑の工事实績(経験)について知りたい。

⑥横連絡坑の近年の事故事例について知りたい。

⑦床下版ではなく、横連絡坑を選択した理由は?

⑧工事中にシールドマシンが故障した場合、トンネル内で補修できる保障はあるのか知りたい。

⑨地上(上)から掘ることはないとお答えだったが、その根拠を知りたい。

⑩交通事故、火災事故のほか、サリンなどの化学物質、集中豪雨、テロの標的になった場合などについて、どのように考えているのか。

## (2) 環境

Q、地下水位など、環境アセスではほとんど影響ないとしているが、三次元解析ではネットワークを大きくとると影響は少なく出る。技術検討委員会でも議論ないままで過ぎされてしまっている。インプットデータは過去30年間の年平均値を入れているが、温暖化により環境が大きく変化しているところで過去30年の平均値を入れても少なく出るのは当然。地下水位の変化、地盤変動の変化は1年間の測定では予測できない。ことに深層だから。青梅街道ICの地中拡幅部はその上部は浅層地下水に掛かるのではないか、それなら環境アセスをやり直さなければならない。委員は細かいデータを見ていないし、検討する時間もない。

A、1000本近い過去のボーリングデータをもとに5mメッシュで三次元解析をしている。

Q、1000本の内、大深度に至るのは何本?

A、その内訳はわからない。我々が行ったのは半々くらいで、場所に応じて浅層、深層のボーリングをした。深層の地中拡幅部は26年7月、裁判の関連で、三次元解析を事後調査

の報告ということで東京都に出している。楢円が真円に変わったということで報告した。浅層の幅は5～25m、30m以深は深層、武蔵野のあたりは立川礫層は浅層、上総層は深層と位置づけ、地中拡幅上部は上総層にあたる。

- ①地下水の水位、水質などの測定を継続して行うこと。観測場所を明示してほしい。
- ②地下水の変化によって引き起こされる地盤変動を現時点、工事中、工事後測定する必要があると考える。重要な問題なので、第三者機関で測定、監視してほしい。
- ③環境モニタリング調査に騒音、振動、低周波の項目を入れてほしい。調査は工事終了後も継続してほしい。調査地点に武蔵野市内も追加してほしい。
- ④大気汚染の測定を工事の事前・事後行うこと。
- ⑤環境モニタリングの調査結果を印刷物で市役所および3コミセンにほしい。
- ⑥換気塔には脱硝装置をつけてほしい。
- ⑦大深度トンネル工事に使用するセグメント、裏込め材の成分、化学物質名、薬品名を知りたい。具体的な薬品名が分からない場合は、使用される可能性があるタイプを全てあげてください。住民の中には各方面の専門家がいます。
- ⑧薬物の注入をした場合、水質の検査をすること。地下水への影響を懸念する。

### (3) 家屋調査

NEXCO 東日本佐藤氏、今の状況・11月末の進捗状況は対象件数800件、調査済は全体7割強、残り3割は連絡つかない人、辞退するという方あり。連絡つかない方には、登記調査して連絡を取る。調査報告書は整い次第渡していく。

A、家屋調査の責任、東日本担当。補償の責任は事後調査は東日本。10年、20年後については、検討する。

司会 地盤変動は大事な問題、だから第三者委員会を要望している。補償の問題は、はっきりしていない。

- ①家屋調査の対象件数、調査済み件数、調査を拒否された件数など公表してほしい
- ②補償期間について、住民の要望を取り入れてほしい。
- ③家屋調査書をトンネルが有る限り保存してほしい。
- ④家屋調査の事後調査を全家屋について行ってほしい。
- ⑤補償が長期にわたることを考えても、最終的に国交省が責任を持ってほしい。
- ⑥横浜環状北線や首都高で作ったような第三者の地盤変動監視委員会を作してほしい。損傷と原因の因果関係を判断するのが当事者というのは公正ではない。検討結果を知りたい
- ⑦工事終了後、1年以上経ってから建物地盤等に不具合、損傷が起きた場合、どこに申し出ればいいのか。供用後は管理部門というが、外環の所有者は誰なのか。NEXCOはどういう立場なのか。仮に損害賠償の訴えを起こすとしたら、だれを被告としたらいいのか。

### (4) 交通問題

Q、武蔵野市 青梅街道 IC により、女子大通り、吉祥寺通りに発生すると思われる交通量への影響について、「対応の方針」の中で、行政（市役所）住民と話し合いをしながら検討すると書いている。青梅街道 IC を出入りする車と「外環の2」を走る車の台数が変わってきているか知りたい。青梅街道で止めてしまってその車はどこへ回すのか。私どもの町の生活道路に入ってくるのではないのか。外環を造るのは、環八の抜け道をなくすという目的だったはずが、同じ問題がここで起きることになる。平成22年、27年と交通量調査しているから、新しい交通センサス、B/C も出して欲しいが、せめて調査結果は公表して欲しい。18年前、宮本小路、東十一小路は8,000台通っていたが、平成26年2,800台になっている。造る必要もなくなっているのではないのか。

Q、 青梅買収対象件数、面積どちらでも。家屋調査関連で、地盤変動監視委員会はなぜできないのか。補償責任はどこか明確に、10年20年後基本的には国に責任があるのか NEXCO だけなのか

A、 青梅街道は300件以上対象、買収率は8パーセント。監視委員会は横浜環状北線にあるが、外環では原因分析する枠組はトンネル施工等委員会では有識者の意見を聞く。

Q、青梅街道 IC ができることへの心配。予定地の買収はまだ300件済んでいないということだが、最初はインターチェンジなしの予定だった。できることならインターチェンジなしにしてくれれば、東町は今のままで何とか凌げる。杉並にとっても助かるのではないかと思う。

Q、三鷹に大きなインターチェンジができるが出口が東八道路1か所しかない。中央ジャンクションは今も渋滞箇所、そこに外環ができる。この地域に高速道路建設が与える影響をどう考えているのか、どう対処するのか？

Q、これまでもインターチェンジができることにより新たな抜け道ができるのではないかと質問したが答えがない。抜け道解析をぜひしてほしい。

A、東十一小路、宮本小路の交通量については、市役所から情報提供を受けた。市がいろいろな対策をとった結果、このような減少になったと認識している。外環ができると環八の交通量は減り、環八の抜け道を通っていた車は環八を通るようになるだろう。インター周辺で抜け道を使うということはよく理解できる、検討していかなければならないと認識している。三鷹市東八道路集中については、新しい周辺道路の整備が並行して進められている。インターチェンジと一般道周辺で同様の問題が起きるのではないかという懸念の声は聞いている。国だけで解決できることではないので、住民や行政と検討していきたい。

司会 インターチェンジ利用の予測台数、抜け道への予測、何台通ったのか数値を示してほしい。

Q、フィジビリティスタディをしているのか？予測値と現状を比較し合致しているか検証し、そのモデルが使えるのか否かを判断する。

①青梅街道インターチェンジについての設計など正確な情報がほしい。

また、青梅街道 IC を通る車の予測台数を知りたい。

②青梅街道 IC ができることによる武蔵野市内の道路への影響について知りたい。

特に、女子大通りにつながる生活道路への車の流入について知りたい。

これについては東京都とも連携して、必要な調査をして回答してほしい。

「対応の方針」には、外環をつくると抜け道の交通量が減ると書いてあるが、示されたグラフでは女子大通りの通行量は増えていて、矛盾している。

③武蔵野市の調査によると、宮本小路・東十一小路の交通量が、H14年には8000台/日だったのがH27年には2800台/日になっている。この減少の理由をどう考えるか。

④H22年、H27年の交通センサスの武蔵野市内の交通量を教えてほしい。

⑤費用便益(B/C)の変更が発表されたが、新しく発表された1.9も、同じ平成17年の交通センサスを使っただけの数値である。この変更の原因について説明してほしい。

⑥なぜ、平成22年度の交通センサスを使った費用便益が未だに出ないのか。

⑦要望：武蔵野市の「交通問題」だけで、学習会を開催してほしい。

## (5) その他

Q、博多の陥没事故には驚いた。今回の事故の前にも何度かあったと聞いた。事故など起きないと思っていたが考えを改めた。事故の可能性がどれくらいなのか教えて欲しい。一旦工事を止めて事故についてじっくり検証して、全く安全と確認してから始めるべき。

Q、東京都はシールド工法だから起きないということだが、連絡坑は事故と同じ工法ということなので心配である。

A、福岡市の事故で我々も慎重に進めなければならないと思ったし、住民も非常に不安に感じたでしょうから、しっかり丁寧に説明していかなければならないと思った。福岡市の要請で、国交省の関連団体土木研究所が事故の検証を始め、11月29日に第1回の検討委員会が開かれた。検討委員会が検証情報収集して臨んでいく。福岡は都市NATOM工法である。横連絡坑はNATOM工法とは別の違った方法、シールドで切り開いていく。しっかり安全にやっていく。

司会 地中拡幅部はNATOMを使うと聞いている。

①掘削した土砂の運搬ルート、搬送方法、搬送先を知りたい。

車両で道路を運ぶのではなく、高速道路をベルトコンベアで運ぶという話はどうなったのか。

②5月19日に発表になった「再評価」資料4-2-①について説明会を開催してほしい。

③工事日程を公表してほしい。

④「対応の方針」で約束されたことが実行されていない。「対応の方針をどのように考えているのか。

⑤要望最新の工法を開発して施工される大深度のシールド工法、地中拡幅部の工法について説明会を開催する必要があるのではないかと。私たちは新聞報道などで知るだけである。

⑥トンネル技術検討委員会については、HP上で、資料と議事概要を公表しているのに、トンネル施工等検討委員会については、資料が全く公表されず、議事概要も極めて簡略にしか公表されていないのはなぜか。同様に、公表すべきである。

⑦11月の福岡市博多駅南口の陥没についての正確な情報と原因究明の結果について知りたい。

外環道工事と無関係とは思えず、住民は不安に思っている。